

明治維新

吉田 稔麿(ヨシダ トシマロ) 天保12年(1841)~元治元年(1864)

人物紹介

〈諱〉秀実 〈通称〉栄太郎・年麻呂・年麿・稔麿
〈雅号〉風萍軒

長門国阿武郡萩町の郊外松本村（現：萩市）に軽卒（足軽）の子として生まれる。松陰門下四天王（高杉晋作・久坂玄瑞・入江九一）の1人と称される。

嘉永元年（1848）、吉田松陰の外叔父である久保五郎左衛門に学び、安政3年（1856）松陰に入門。安政5年（1858）松陰の再投獄に反対し、重役宅に押しかけ、自宅謹慎を命じられる。以降、松陰処刑に至るまで松下村塾と距離を置く。

万延元年（1860）脱藩し、江戸に潜伏。変名を使って旗本に仕える。文久2年（1862）脱藩の罪を許され、帰国。

文久3年（1863）、土雇となり、屠勇取立方に任命される。合わせて名を「栄太郎」から「年麻呂（稔麿）」に改名。

元治元年（1864）、池田屋事件にて死去。享年24。

資料紹介

県立図書館所蔵の吉田稔麿に関する本

- 伝記
- 『松陰先生と吉田稔麿 増補版』
来栖守衛著 マツノ書店 2010 Y289/Y86
昭和13年刊の伝記に研究論文を加えた増補版。文書も多数収録。
【収録論文】
三宅紹宣「吉田稔麿の政治思想」
三宅紹宣「幕末の志士達のアメリカ独立戦争認識」
町田明広「池田屋事変における吉田稔麿」
 - 『吉田栄太郎の幕末』 一坂太郎著 春風文庫 2011 Y289/Y86
『吉田年麻呂史料』を元に記した伝記。巻末には、「吉田栄太郎の足跡を歩く」と題して、生誕地や松陰神社などが紹介されている。
 - 『吉田稔麿の生涯』 一坂太郎著 萩ものがたり 2012 Y289/Y86
全65頁で稔麿の生涯をわかりやすく紹介した読み物。付録部分に『萩博物館調査研究報告』に寄せた一部の論文が掲載されている。
 - 『月刊・松下村塾 Vol.3 吉田松陰と吉田稔麿』
月刊松下村塾編集部編 山口産業 2004 Y289/Y86/N 4
写真やイラストを交えて紹介。P46-47に「吉田稔麿の生きた時代」と題し、名前の遍歴や、長州・日本・世界の出来事を合わせた年表がある。

文書 ・ 『吉田年麻呂史料』

一坂太郎・道迫真吾編 マツノ書店 2012 Y289/Y86

「往復文書」「述作等」「履歴史料」「関係史料」の四部で構成されている史料集。各史料に解説があり、遺墨を影印で見ることができる。『松陰先生と吉田稔麿』中「東風不競密話草稿」の脱漏等を修正し、掲載。

その他 ・ 『長州藩維新団』 布引敏雄著 解放出版社 2009 Y316/N9

幕長戦争で被差別部落を中心とした部隊に関する資料。稔麿の屠勇取立に関する記述あり。

・ 『池田屋事件の研究』 中村武生著 講談社 2011 Y215.8/P1

池田屋事件に関する書物を検証した研究書。池田屋における稔麿の動向を知ることができる。

◇ リストでご紹介した本は図書館にある本のごく一部です。

このほかにも関連する本がありますので、詳しくはお問い合わせください。

山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています

山口県立山口図書館 総合サービスグループ

TEL：083-924-2114（調査・相談）

FAX：083-932-2817

ホームページ：http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/

作成日：平成29(2017)年3月23日